

視聴覚教育

NO.282

発行日

14.5.16

発行

岡崎市AVL

編集

現職教育委員会

学習情報部

高度情報通信社会への対応

学習情報部部长 高木和広

私たちを取り巻くコンピュータやネットワーク等の進歩はめざましく、世の中は、まさに「高度情報通信社会」となっています。

学習情報部では、本年度も「高度情報通信社会に対応する学校での新しい視聴覚・情報教育のあり方を追究しよう」という研究主題のもとで活動を進めてまいります。今や学習を展開する上でコンピュータやネットワークは欠かせないものとなり、その利用も情報収集、情報発信、情報交換、問題解決、観察実験等幅広くなっています。岡崎市では、本年度中に小学校三十校のパソコン教室において、一人一台の環境が整います。また、十校において、校内LANの設置とそれに伴う端末の配備が行われます。変化の激しい社会を生き抜く子供たちの学びにおいて、学習メディアの活用を図る学習情報部の果たす役割が、これまで以上に大きいものとなってきている感がします。

視聴覚用語
『メディアミックス』
文字・図形・音声・画像等の各種メディアの特徴を生かしつつ、複合的に利用すること。具体的なメディアとしては、学校放送番組、自作ビデオ、本・新聞、CDやインターネットによる検索、OHPや写真などがある。

この四月より、「生きる力」の育成を基本的なねらいとした学習指導要領が完全実施となりました。コンピュータやネットワークの活用は、各教科等で必須なものとなってきています。とりわけ、「総合的な学習の時間」では、体験活動とともにその活用が求められています。

しかし、メディアはあくまで道具です。その特性を生かした活用を図ることが必要となっています。

学習情報部としては、広報部、研修部、自作部、教科部を組織し、各学校におけるメディア活用の支援を進めていきます。また、視聴覚主任会と情報教育主任会の統合による組織変化に伴い、各学校の学習情報主任においては、視聴覚的な部分と情報教育的な部分があることを念頭において活動が求められています。



「視聴覚教育あれこれ」
平成十四年度

学習情報部活動方針決定！

研究主題

高度情報通信社会に対応する学校での新しい視聴覚・情報教育のあり方を追究しよう

研究の重点

学習メディア・パソコンの効果的な

活用法の研究

校内ネットワークの環境整備と

活用法の研究

岡崎教育ネットワークの環境整備と

活用法の研究

市自作ビデオの活用の促進と

学校独自の自作視聴覚教材の制作

視聴覚教室やパソコン教室の

総合的な管理・運営方法の工夫

教育チャンネルや校内放送の活用法の研究

主任会の活動

〔広報部会〕…授業実践や視聴覚関連の研究の

集積、研究誌や月報の発行、学

習情報部のホームページ管理等

〔研修部会〕…各種研修会・講習会の計画・実

施や各種視聴覚教材や教育メデ

ィアの研究、機器調査等。

〔自作部会〕…自作教材ビデオ・自作マルチメ

ディア教材の制作とその活用事

例研究等。

〔教科部会〕…「視聴覚教材・機器利用の手引

き」の発行、ソフトの利用促進

と活用法の研究等。

平成十四年度組織

視聴覚ライブラリー

所長（教育長）

藤井 孝弘

副所長

鈴木 省吾

副所長補佐

中根 文雄

職員

服部 光晴

森田 結子

太田ますみ



学習情報部

部長

高木 和広（井田小長）

石原 雅充（竜南中長）

丹沢 英喜（常磐小長）

担当指導主事

内田 義和（教育委員会指導課）

指導員

名倉 嘉章（六北中）

小川 規博（羽根小）

世話係

内藤 法雄（大門小）

小田 哲也（竜南中）

各部世話係

〔広報〕

島田 繁直（六北小）

河合 泰宏（井田小）

〔研修〕

内藤 法雄（大門小）

川本 祐二（小豆坂）

小田 哲也（竜南中）

島田 繁直（六北小）

佐渡 英彰（竜海中）

杉山 康子（竜美丘）

〔自作〕

岡 秀之（六北中）

村田 貴志（甲山中）

〔教科〕

佐渡 英彰（竜海中）

坂田 健一（矢作中）

伊藤 研治（六美中）

杉浦 正明（藤川小）

*今年度、学習情報部視聴覚主任会と情報教育主任会が統合一本化されました。

「レッツ・トライ」

・三教研自作教材研究会

8月7日 幡豆郡

・愛知県放送教育特別研究会

（東海北陸地区）

放送教育研究会

8月20日 豊橋市

・視聴覚教育総合全国大会

放送教育全国大会

10月24・25日 大阪市

・松下全国視聴覚教育研究会

11月15日 滑川市

各種大会 ・研究会の案内

この他、本年度も、多くの大会・研究会が予定されています。ぜひご参加ください。

ライブラリーだよ

新年度がスタートしました。ライブラリーでは、機器・教材の活用について、社会教育・学校教育関係者のサポートをしています。相談・利用をお願いいたします。

教材などの配達・回収

視聴覚教材、16ミリ映画、ビデオ・レーザーディスク教材の利用を希望する小・中学校・園に配達・回収を行っています。毎週火曜日に配達、翌週の月曜日に回収に伺います。必ず電話で予約の上、お申し込みください。

また、「視聴覚機器・教材目録」、「視聴覚教材・機器利用の手引き」をご覧ください。

ビデオ教材のダビングサービス

ライブラリーでは、制作した自作ビデオ番組やビデオ映像ラッシュ、行事記録等のダビングを行っています。お手持ちのビデオテープの背に「番組名」と「学校名」を記入の上、送付ください。原則として、1番組1本のテープでお願いいたします。（テープの種類は問いません）

「視聴覚教材・機器利用の手引き」第7集

視聴覚機器の利用の仕方や活用の実践事例、市自作ビデオ教材の活用事例と制作の歩みなど、大変参考になります。市内全教職員に配布しました。ご利用ください。

人事異動

4月の異動で、宮田典彦副所長代理が異動、後任は中根文雄副所長補佐が当たります。よろしくお願いたします。